（仮称）かすかべエリアプラットフォーム
未来ビジョン会議



※画像はイメージです

エリアプラットフォーム
関係者向け資料

2026/9/29

strictly confidential
【閲覧制限A】提出企業様のみ

関係者限定

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

9月29日19~21時 未来ビジョン会議内容

目的

①AP運営方針を定める
②ビジョン策定に向けて個別テーマを具体的に協議

参考：未来ビジョン会議/部会の方向性

理念・方向性の共通理解⇒インプットし続ける（方針・事例など）	AP活動の理解促進⇒官民連携メリットの可視化/持続可能な仕組み構築	官民連携メリット可視化①⇒市のサポート事例/交付金活用事例などの共有
官民連携メリット可視化②⇒市のハード整備などドピック共有	未来ビジョン会議/部会	APメンバーの相互理解/関係性構築⇒交流・情報共有し合いチームビルディング
意志統一と活動内容の具体化⇒運営/部会の切り分け	組織のあり方策定⇒ビジョン会議で意見収集＆反映	地域への情報発信/理解促進⇒10月中間発表に向けて広報強化/個別に協力依頼

未来ビジョン会議の進め方

①運営（30分）
- 運営関連の共通理解
- 名称/体制/規約などの確定へ

②ビジョン策定（60分）
- エリアとターゲットを中心に協議
- のびしろマップ/ペルソナ分析活用
- 春日部市からトピック共有

③相互理解（30分）
- メンバーのやりたいこと/相談共有
- フリーテーマで対話交流

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

タイムテーブル

no	時間帯	区分	内容
1	19:00～19:05	共有	通行滞在者調査
2	19:05～19:30	共有＆協議	運営関連
3	19:30～19:55	協議①	ビジョン策定_エリア
4	19:55～20:05	休憩	休憩
5	20:05～20:30	協議②	ビジョン策定_ターゲット
6	20:30～21:00	相互理解	APメンバー発表

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

日本工業大学 木下教授＋ゼミ生との協働プロジェクト（振り返り）

1. 調査の目的と仮説検証　社会実験の効果検証指標調査＜現状把握

- **高架化を見据えた人流実態の把握：**GPSやセンサス等の既存データでは見えない「屋外滞在者の位置・属性・目的・歩行方向」を緻密に捕捉。
- **理想像と現状のGAP可視化：居心地の良い**滞留空間を目指すビジョンに対し、現在の滞留層や滞留阻害要因（ベンチ・広場利用状況）を特定。

> **仮説：**駅前広場が現状ターゲット層（子育て層等）に十分活用されていない原因を解明し、ハード・ソフト両面の空間活用施策の明確な根拠とする。

2. 9月29日 調査実施計画概要

時間帯

13:00〜18:00
(12:00集合/12:30レクチャー)

対象エリア

春日部駅 西口駅前広場
(人流が多く滞留できる広場や設備がある)

調査体制 (最低10名)

学生最大10名＋APメンバー/CCC/市職員
(通行量8名＋滞在車調査2名・30分単位交替)

配慮事項

目視調査中心・写真撮影時は顔非写り込み
(プライバシーに万全の配慮)

3. 調査手法と得られる成果データ

手法 A

通行量調査

駅前8エリアでの出入り測定と推計により、歩行者がどの方面から来てどこへ向かうかの「方向別人流（OD）」をビジュアル化。

手法 B

グリッド滞在者調査

広場をメッシュ分割し、滞留位置・属性・行動（ベンチ利用等）を記録。ヤン・ゲール手法による「滞留ポテンシャル図」のようなアウトプットを作成。

4. 成果の活用と未来ビジョンへの貢献

1. **空間活用の根拠獲得：個別具体的なエリアで**解像度の高いデータを抽出し、ハード（ベンチ配置・日陰創出）とソフト（イベント・サービス）の具体的展開案を導く。
2. **関係者のベクトル統合：**APメンバー・市職員・大学間で現状課題認識を共有し、エリアビジョンのイメージを一本化。
3. **調査手法のPDCA：**今回の試行を通して調査体制や手法の課題を洗い出し、APメンバーそれぞれが継続的にモニタリングできるモデルを検討。

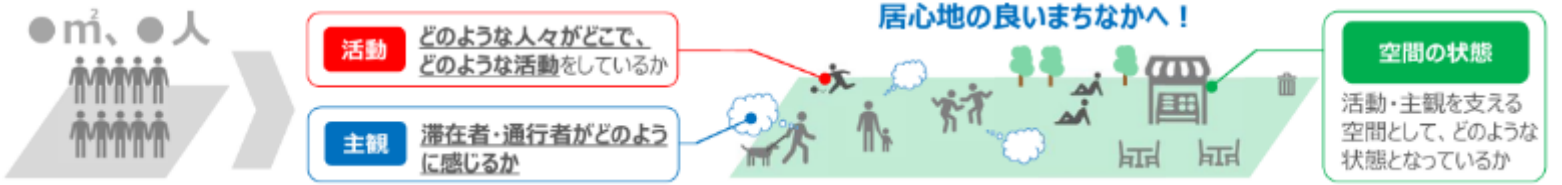
Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

1-2.今回の調査指標

国土交通省 まちなかの居心地の良さを測る指標の概要

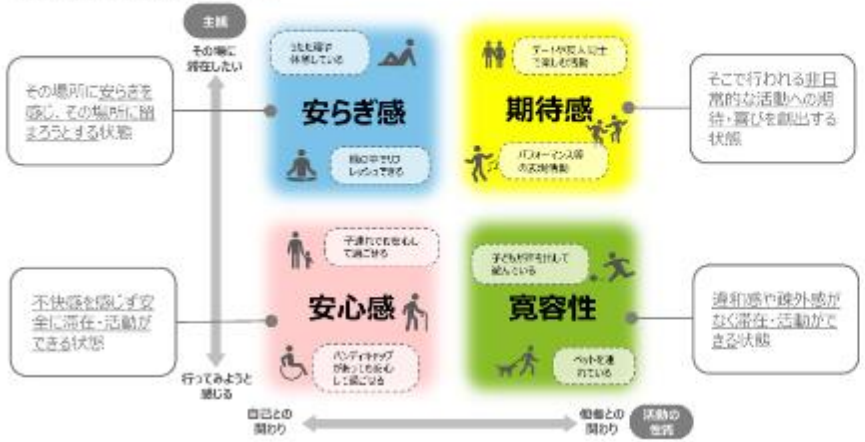
■ 目的・基本的な考え方

都市空間の状態を、面積・人数などの「量」だけで捉えるのではなく、**【活動】や【主観】などの「質」を可視化**し、その場の強みや弱みを分析・考察して改善を重ねることで、**単なる空間（スペース）から居心地の良いまちなか（プレイス）へ場を育てます**。



■ 居心地の良さの４要素

本指標は、居心地の良さを**安心感・寛容性・安らぎ感・期待感**の４つの要素にグルーピングし、対象地を要素ごとに把握します。居心地の良さの４要素には各項目の指標を設定し、項目ごとに**【主観】**と**【活動】**を計測します。





KPI(効果検証項目)案

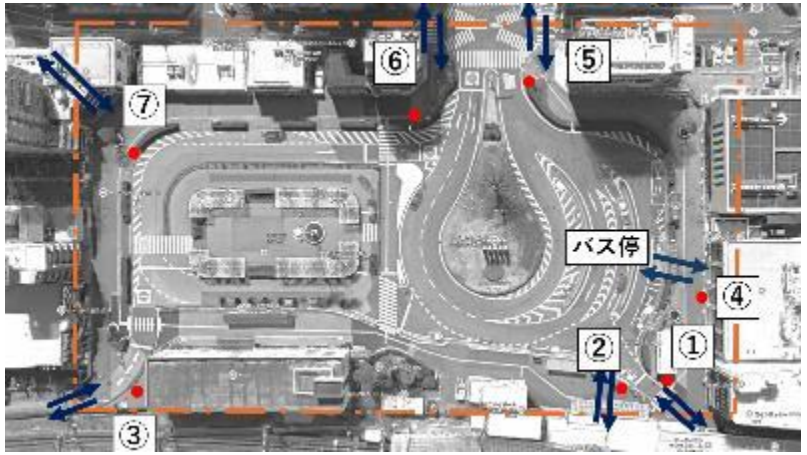
- ①滞在性
- ②快適性・居心地の良さ
- ③活動の多様性
- ④回遊性
  （1エリア調査につき、対象外）

まちなかの居心地の良さを測る指標 調査票から
KPI案と合致し最低限必要な項目を抽出＋KPI要素を追加して設計

1-3.今回の調査目的と位置づけ

まずは通行量/滞在スポットのある西口エリアの通行量・滞在者調査を実施し、
“APメンバーが対応可能な調査方法・KPIの検討”を目的とする

調査方法



①通行者/滞在者
②空間の状態

● 計測者の位置
④ 計測位置番号
⇄ 計測断面

効果検証項目①：滞在者調査

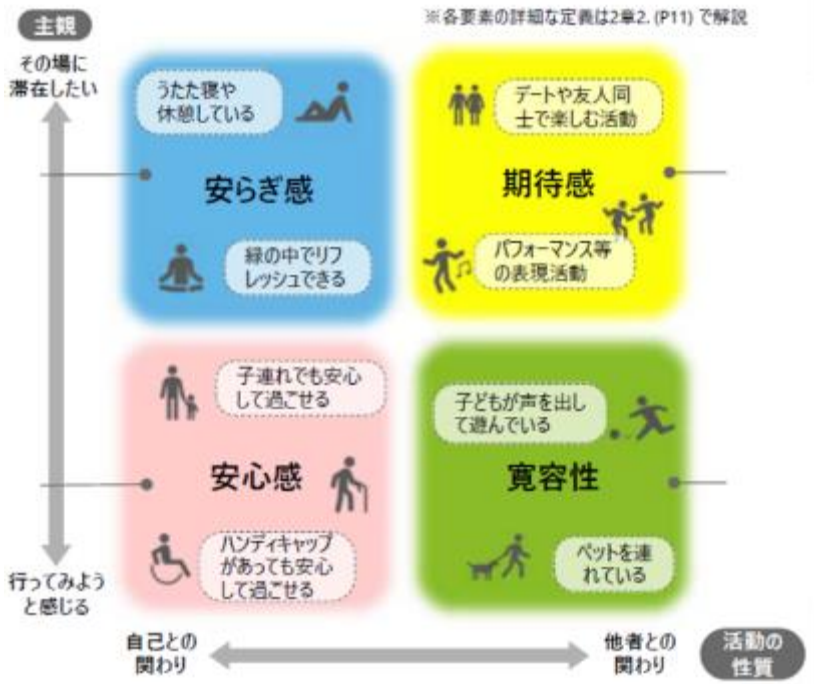


図 12　居心地の良さの 4 要素

効果検証項目②：空間の状態

表 8　ハード面での具体的な調査内容

評価カテゴリー	現場での具体的な確認項目
1. 沿道建物・土地の状況	テラス等の有無
	通りからの利用者の見えやすさ
	空き地等の滞留空間としての活用状況
2. 滞在のしやすさ	座れる場所、自由に使えるテーブル
	雨宿りできる場所や日陰の有無
	トイレ、ゴミ箱、Wi-Fi環境の有無
	段差の無い動線（バリアフリー）
3. 回遊のしやすさ	車道と歩道の分離、歩行者専用空間
	車両の速度抑制対策
	シェアサイクル等のポートの有無
4. 景観・雰囲気	魅力的な照明や植栽の有無
	アスファルト以外の舗装材の整備
	歴史的/伝統的な建物の有無

▶通行量・滞在者調査のみでは把握できない、アンケート調査/人流データなどの活用検討にもつなげる

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

タイムテーブル

no	時間帯	区分	内容
1	19:00～19:05	共有	通行滞在者調査
2	19:05～19:30	共有＆協議	運営関連
3	19:30～19:55	協議①	ビジョン策定_エリア
4	19:55～20:05	休憩	休憩
5	20:05～20:30	協議②	ビジョン策定_ターゲット
6	20:30～21:00	相互理解	APメンバー発表

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2-1.8月28日未来ビジョン会議振り返り

「ビジョンを実現する仕組みや具体テーマを共に考える段階」へ一歩前進

テーマ	現状（背景）	成果	ネクストアクション
目的・ビジョン	「市が何を目指しているか」「APの役割」「自分の関わり方」が分かりづらいという声があった	企画の前に、ビジョン・目的・進め方の共通理解が必要	ビジョン会議で継続的に振り返り・共有
未来ビジョン要素	「居場所・サードプレイス」「日常のリビング化」「交流・コミュニティ」「回遊・滞在」「カルチャー・体験」が主要テーマとして見えてきた	コンセプトを構成する柱要素が整理されてきた	APの声×マーケティングデータをもとにビジョン骨子を作成
生活者ニーズとの整合	デプスインタビューでは「滞在場所不足」「買物場所不足」「東西分断」「治安不安」が課題	APメンバーの理想像と生活者ニーズは概ね一致	ペルソナ分析・アンケートで仮説を補強
未来ビジョン具体化の進め方	これまでは全体議論が中心で、イメージが曖昧だった	未来ビジョン会議で「東口／西口」「駅前／駅周辺」「子育て／若者／来街者」「平日／休日」など個別テーマごとの議論へ移行	テーマ別協議で解像度を上げる 次回はエリア別/ターゲット別の協議へ
運営体制	組織化への懸念やメンバー間理解不足の声があった	ピラミッド型ではなく、オープンなプラットフォーム型が望ましい	共同代表体制確定に向けて最終確認
具体プロジェクト①	メンバー間の認識・温度差の解消 APメンバー間の関係値/理解不足	石丸さんより「子育てしやすい春日部」構想共有 。子育て世代向けの居場所・学び場はニーズが高い	未来ビジョンの柱要素に反映検討
具体プロジェクト②		三輪さんより駅周辺の空き地・借地の実態共有。今後は遊休地活用の可能性が高まる	今後も情報シェア頂きながら民地活用も含めて検討へ

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2-2.9月8日勉強会振り返り

「これまでで一番良かった。解像度が上がった」

APメンバーより交流会でのコメント

理念・方向性の共通理解

- 未来ビジョンの再共有
- 「通過する駅前」から「滞在・交流する駅前」などKPIリマインド
- フラットなプラットフォーム型運営方向性の理解
- 社会実験を起点としたまちづくり手法の理解

AP活動の理解促進

- 役割整理/行政支援機能の共有
- 運営体制の在り方・規約の必要性確認
- 公共空間活用候補地の理解
- 社会実験の目的/プロセスの理解

相互理解・関係性構築

- 企画発表/共有による相互理解
- 分野横断的な連携可能性の可視化
- フィードバックによる企画ブラッシュアップ
- 意見交換/交流会を通じたネットワーク形成

意思統一と活動内容の具体化

- 運営と部会の役割整理
- 部会設立に向けた段取り/方向性確認
- ターゲット・提供価値の必要性と課題提起
- 今後の協議テーマ設定

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2-3.スケジュール

直近のネクストアクション

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主な内容	交流会	テーマ選定/企画仮説立案	フィールドワーク	勉強会/企画発表/AP発足	企画立案/APリーダー確定	企画発表会（中間報告）/未来ビジョン骨子	社会実験候補の選定	未来ビジョン完成/部会設立	社会実験の検討	未来ビジョンデータ完成	報告会/未来ビジョン冊子完成
未来ビジョン		●定例検討会（月1開催） ●ビジョン要素構成の協議 ●ビジョン要素の個別協議 ●APリーダーの募集			●ビジョン要素の個別協議・運営規約/ルール確定 ●ビジョン要素の個別協議(部会ルール/意思決定フローなど) ⇒未来ビジョンの個別テーマ協議（エリア別・ターゲットなど） ●APリーダーの確定 ●AP発足	●定例検討会（月1開催・APリーダー主導） ●ビジョン骨子発表	●ビジョンの具体協議/社会実験候補の選定	●ビジョンの方向性確定			●報告会/成果発表
企画	●企画の仮説立案 ●交流会（テーマ案収集/チーム組成）	●検討会（テーマ×企画仮説立案）	●フィールドワーク（仮説磨き上げ）	●企画立案/部会構築検討	●勉強会(企画案の発表) ●企画エントリー⇒企画発表者の確定	●企画発表・企画の具体化・部会設立 ●企画発表会 ※一般公開⇒関係者限定 ●企画発表者との壁打ち（CCCとの1on1） ●フィールドワーク（エリア実態把握）		●社会実験テーマ仮確定 ※実施確定は来年度 ●部会リーダー選定/部会設立	●社会実験の検討（部会単位） ●社会実験方法/KPIの検討		

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2-4.APメンバー向けアンケート結果（26年9月2日～9月8日）

回答者　⇒26名中、24名

名称　⇒全員賛成

体制案　⇒全員賛成

規約内容　⇒2箇所のみ調整（責任/役割分担・運営役員選任方法）

その他

①規約：状況に応じて改変など調整可能（13条/14条に記載済）
②規約：メンバー・市職員異動時も継続できる環境（規約外で継続検討）
③ビジョンの柱要素：意見を参考に反映検討へ（反対意見なし）

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2-5.AP活動名称(再掲：26年2月12日ワークショップ資料より)

かすかべエリアプラットフォーム

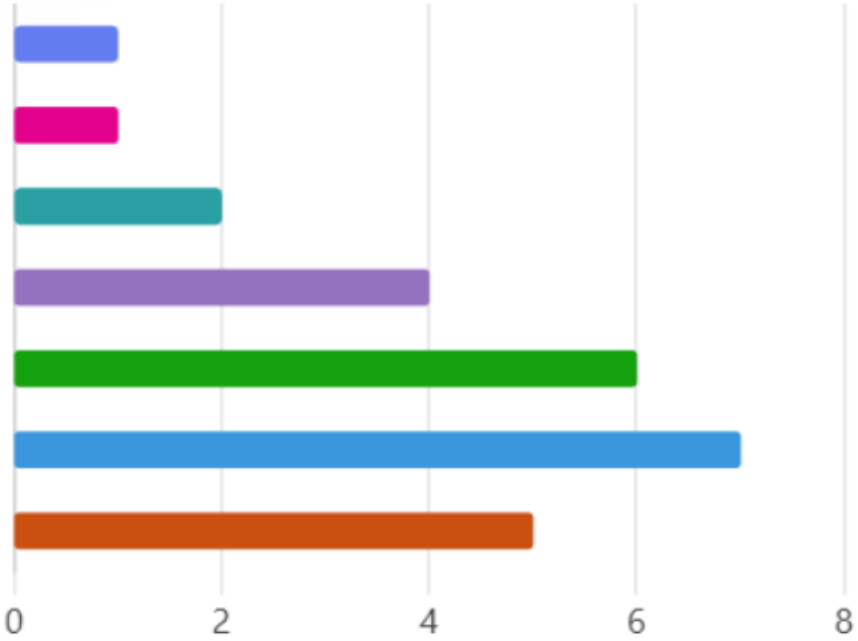
確定

※エリアプラットフォームの解説付

参考：事前アンケート結果

この**活動の名称**を検討しています。選択肢から選ぶか、「その他」から活動名称案を入力してください

春日部駅周辺官民連携まちづくり	1
春日部官民連携まちづくり	1
かすかべ官民連携まちづくり	2
春日部駅周辺エリアプラットフォーム	4
春日部エリアプラットフォーム	6
かすかべエリアプラットフォーム	7
その他	5



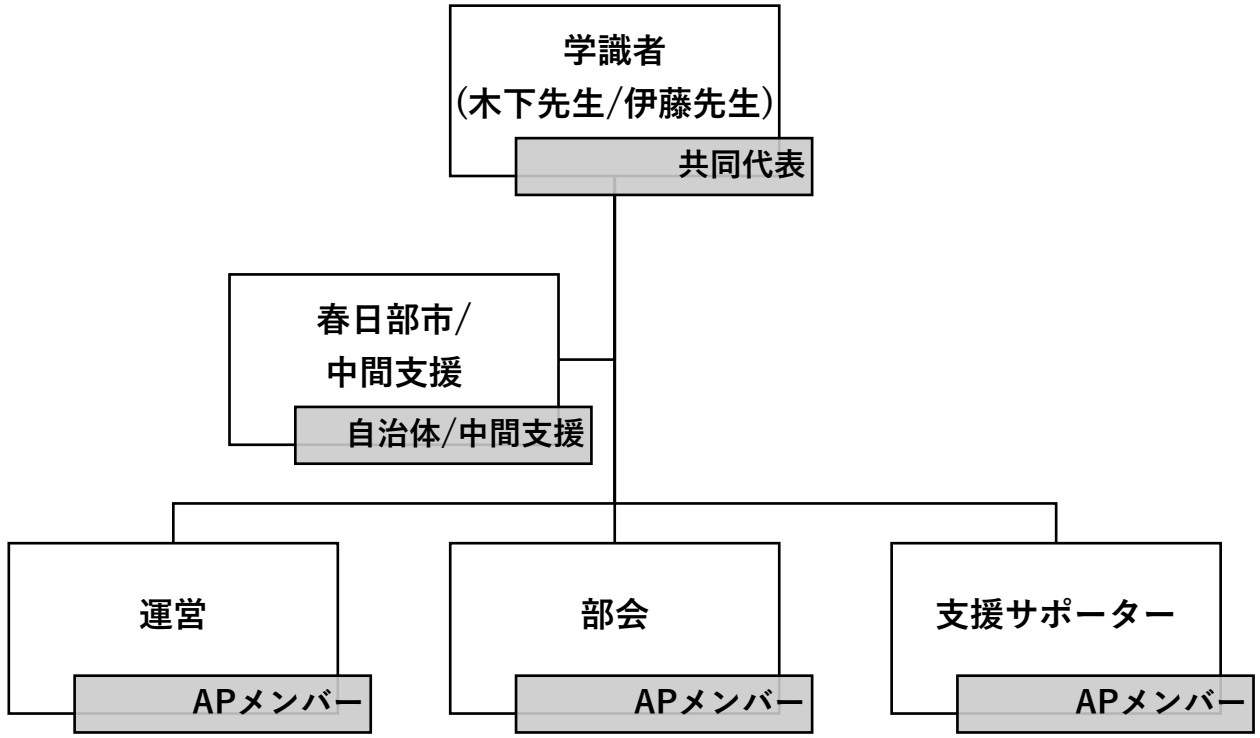
・春日部まちづくりラボ（春日部駅周辺官民連携エリアプラットフォーム）
・春日部駅前くらし会議
・明るい未来チャレンジプラットフォーム

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2-6.AP体制



オープンなプラットフォームかつ
フラットなネットワークとして、
学識者の木下先生/伊藤先生を共同代表に選任

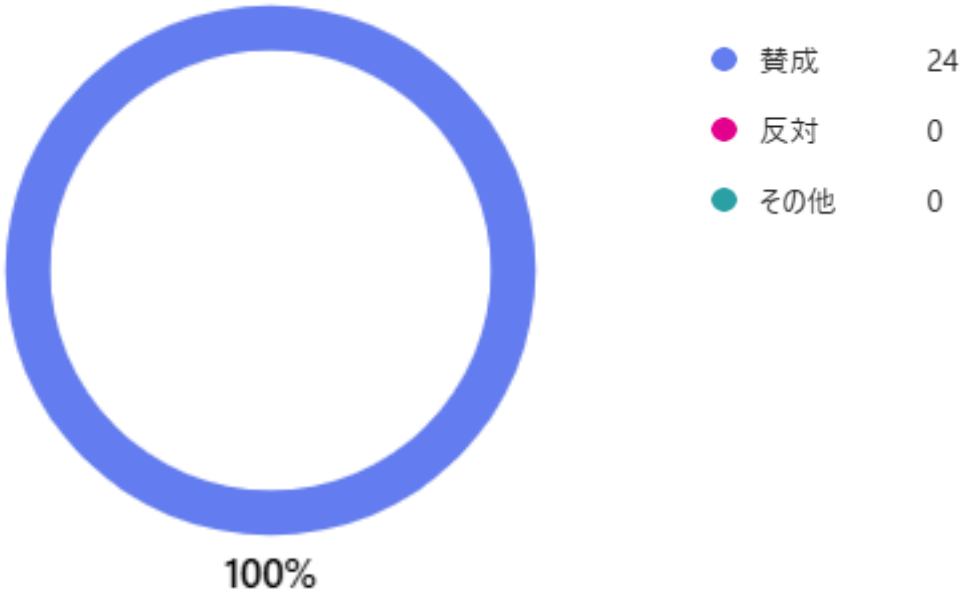


APメンバー26名中、24名賛成（アンケート未回答2名）
⇒木下先生・伊藤先生の共同代表制で確定

2-7.参考：APメンバーアンケート結果（一部抜粋）

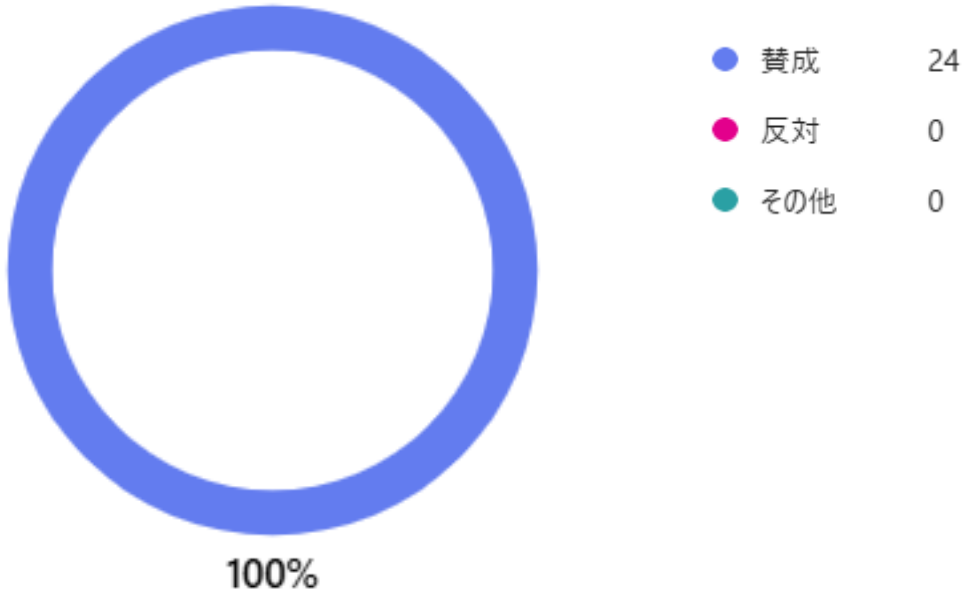
エリアプラットフォームの活動名称について、「かすかべエリアプラットフォーム」とすることに賛成しますか。

※前回アンケートで最も賛同の多かった名称案です。本アンケートにおいて回答者の過半数の賛成を得た上で、9月29日の未来ビジョン会議での最終確認をもって決定します。



エリアプラットフォームの運営体制について、「オープン・自律型のプラットフォーム」とし、木下先生・伊藤先生による共同代表制とすることに賛成しますか。

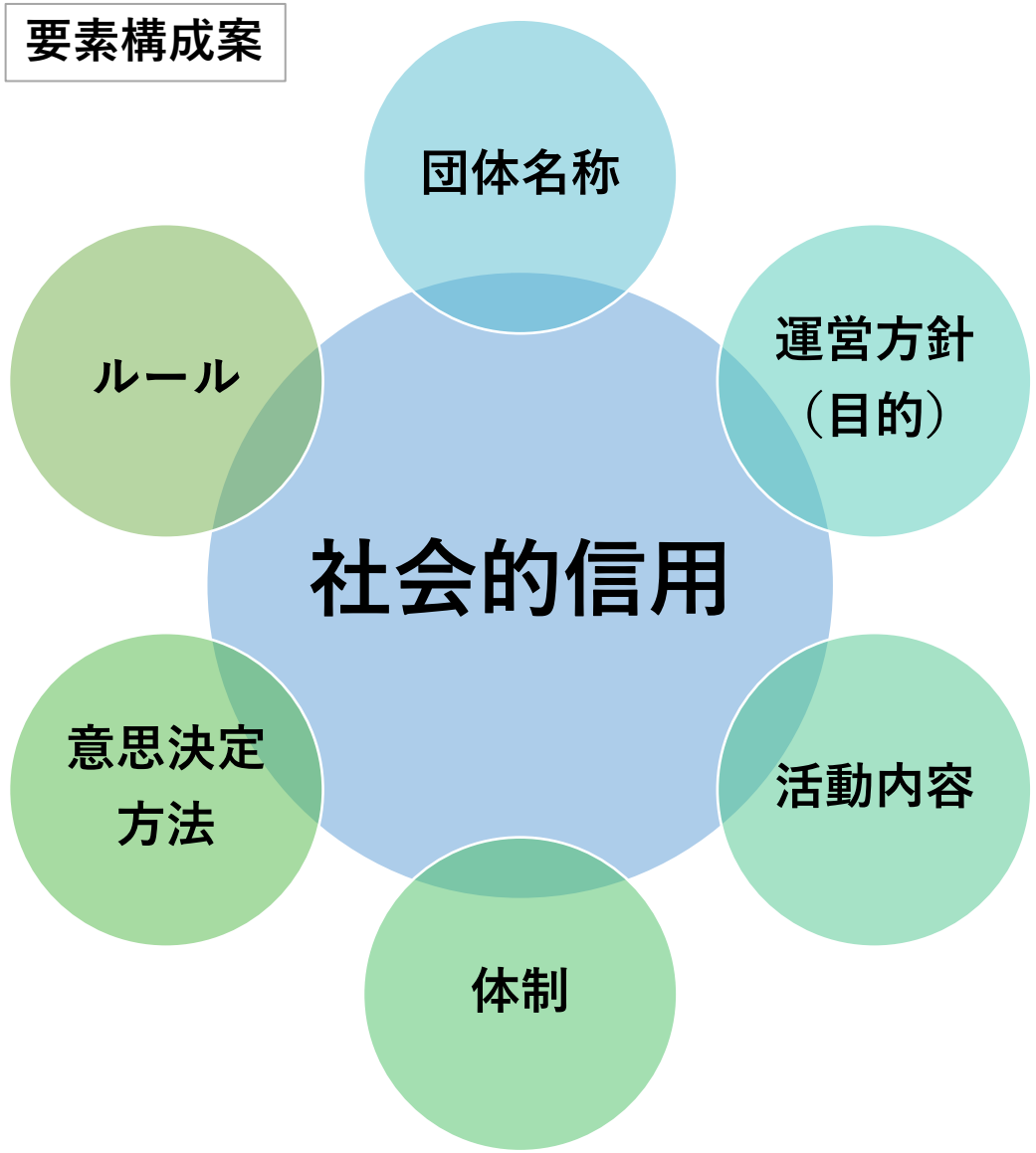
※8月28日の未来ビジョン会議では、参加者12名全員から賛同をいただいています。本アンケートでいただくご意見・ご回答も踏まえ、9月29日の未来ビジョン会議で最終確認のうえ確定する予定です。



Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2-8.振り返り：AP運営規約・ルールの位置づけ

要素構成案



誰向け？

○APメンバー⇒共通認識/内容同意
○一般公開⇒社会的信用

内容は？

○活動内容・体制（代表/役員の決定）・意思決定方法・最低限のルールを定めたもの

用途は？

①APの運営方針を言語化することで共通認識でき、APメンバーの意思統一と円滑な運営ができる
②APメンバーにおける最低限の遵守事項（ルール）を定めることで、トラブル防止につなげることができる
③国の交付金や支援を受ける際に、どのような任意団体か説明できる証憑として活用できる
④一般公開することで外部からの理解や安心感が高まり社会的信用につながる。サポーターや理解者が増え活動しやすくなる

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2-9.規約-1

かすかべエリアプラットフォーム　規約

（名称）
第１条　この団体 の名称は、かすかべエリアプラットフォーム（以下「エリアプラットフォーム」という。）と称する。

（目的）
第２条　エリアプラットフォームは、春日部駅周辺中心市街地（以下「当該地区」という。）において、官と民が一体となり官民 連携まちづくりを推進する団体であり、にぎわい創出やまちなかの魅力向上に関する事項を協議し、未来ビジョンの策定及びそれを実現する事業等の実施を通じて、当該地区の活性化と発展に寄与することを目的とする。

（活動内容）
第３条　エリアプラットフォームは、次に掲げる活動を行う。
（１）エリアプラットフォームの運営に関する事項
（２）当該地区における官民協働の未来ビジョンの策定及び改廃に関する事項
（３）未来ビジョンの実現に向けた調査、検討及び社会実験や事業実施に関する事項
（４）春日部駅周辺のまちづくりに関する情報共有及び意見交換
（５）その他前条に掲げる目的の達成のために必要な事項

（組織）
第４条　エリアプラットフォームは、本規約に賛同する以下の個人及び団体、企業等により構成し、構成員をエリアプラットフォームメンバー（以下「メンバー」という。）とする 。
（１）まちづくりに関わる個人、団体、企業等
（２）専門人材
（３）行政機関及び委託事業者（中間支援組織）
（４）その他、エリアプラットフォームが適当と認める者
２　エリアプラットフォームへの参加又は脱退は、メンバーが電磁的な方法による申請を行い、代表者及び事務局が承認したときをもって参加又は脱退したものとみなす 。

(役員及び職務)
第５条　エリアプラットフォームに次の役員を置く。
（１）代表者 １人又は２人（共同代表の選任を可とする 。）
（２）運営役員　 若干名（対外的な通称として「運営メンバー」と呼称することができる。）
２　代表者は、エリアプラットフォーム内で協議した上で選任し、メンバーからの過半数の賛同に より定める。
３　運営役員は、メンバーからの立候補又は推薦によって定める。
⇒変更後：３　運営役員は、メンバーからの立候補又は推薦があった者の中から、会議における協議及び承認を経て定める。
４　代表者はエリアプラットフォームを代表し、会務を総理する。
⇒変更後：４　代表者は、エリアプラットフォームを代表し、その活動の推進に努める。なお、事業の企画及び実務運営は、運営役員及び事務局が協働して担うものとする。
５　運営役員は、代表者を補佐し、代表者に事故あるときは、その職務を代理する。
６　役員の任期は、選任後2年以内の年度末までとする。ただし、再任を妨げない。
７　任期中に欠員が生じた場合は、改めて選出する。なお、任期は前任者の残任期間とする。

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2-10.規約-2

(会議)
第６条　会議は、代表者、運営役員又は事務局が招集し、代表者又は運営役員がその議長となる。
２　事務局（春日部市及び中間支援組織）は、コーディネーター及びファシリテーターとして、会議の進行その他運営のサポートを行う。
３　決議が必要な会議は、運営役員の半数が出席しなければ開くことができない。
４　エリアプラットフォームの事業及び運営に関する方針は、メンバーの意向を踏まえ、代表者及び運営役員が決定する。
５　代表者又は事務局は、必要があると認めるときは、メンバー以外の者をオブザーバーとして会議に参加させることができる。

（部会）
第７条　第３条の活動を行うため、エリアプラットフォームは部会を設置することができる。
２　部会は未来ビジョンの実現に向けた活動方針に基づき必要な活動を行う。
３　部会で実施する内容、構成その他の運営に必要な事項は、別にエリアプラットフォームが定める。

（事務局）
第８条　エリアプラットフォームの事務局は、エリアプラットフォームの運営体制が確立し、会議において別段の定めをするまでの間、春日部市 都市整備部都市計画課に置き、運営業務の一部を中間支援組織に委託することができる。

（禁止行為）
第９条　メンバーは、エリアプラットフォームの運営にあたり、次の行為を行ってはならない。
（１）本規約に違反する行為
（２）エリアプラットフォーム又は部会の運営を妨げる行為
（３）エリアプラットフォーム、他のメンバー又は第三者を誹謗中傷する行為
（４）エリアプラットフォーム、他のメンバー又は第三者の著作権、プライバシーその他の権利 を侵害する行為、又はその恐れのある行為
（５）その他、法令等に違反する行為又はその恐れがある行為

（メンバー資格の喪失）
第１０条　メンバーが事務局に対して退会届を提出したときは、当該メンバーはメンバー資格を喪失することとする。
２ メンバーが次の各号のいずれかに掲げる行為を行ったと認めるときは、当該メンバーのメンバー資格を取り消すことができる。ただし、当該メンバーに弁明の機会を与えなければならない。
（１）本規約に違反又はエリアプラットフォームの信用を著しく害したとき
（２）第９条の各号に掲げる行為を行ったとき
（３）メンバーが解散又は営業を停止したとき
（４）暴力団等反社会勢力と関係があることが判明したとき
（５）犯罪行為を行い、又は刑事事件により有罪判決（執行猶予を含む）を受けたことが判明したとき
（６）入会申込書に虚偽の記載があったと判明したとき
（７）前各号に掲げるもののほか、エリアプラットフォームの運営に支障をきたすなど、メンバーとして不適当であると代表者が会議の承認を得て判断したとき

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2-11.規約-3

（個人情報）
第１１条　事務局は、活動の運営上必要な場合以外の目的でメンバーの個人情報を利用し、又は第三者に開示、提供できないものとする。ただし、次のいずれかに該当するときはこの限りではない。
（１）法令に定めがあるとき
（２）本人の同意があるとき、又は本人に提供するとき
（３）個人の生命、身体又は財産の安全を守るため、緊急の必要があると認められるとき

（秘密保持義務）
第１２条　メンバーは、秘密保持に関して、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
（１）エリアプラットフォームにおいて知り得た活動内容又は他のメンバーに関する一切の情報 及び相互の交流により知り得た他のメンバーの秘密を第三者に開示又は漏洩しないこと（ただし、事前に相手方の同意を得た場合はこの限りではない）
（２）退会後においても、上記の情報、秘密を第三者に開示又は漏洩しないこと

第１３条　この規約の改廃は、代表者及び運営役員が協議の上、会議において出席したメンバーの過半数の同意を得て行うものとする。

（雑則）
第１４条　この規約に定めるもののほか、エリアプラットフォームの運営に必要な事項は、エリアプラットフォームの会議体等で別に定めることができる。

規約の変更ができるように追加しました

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

タイムテーブル

no	時間帯	区分	内容
1	19:00～19:05	共有	通行滞在者調査
2	19:05～19:30	共有＆協議	運営関連
3	19:30～19:55	協議①	ビジョン策定_エリア
4	19:55～20:05	休憩	休憩
5	20:05～20:30	協議②	ビジョン策定_ターゲット
6	20:30～21:00	相互理解	APメンバー発表

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

3-1.目的・ゴールイメージに対する進捗状況

ネクストアクション

持続可能な中心市街地のまちづくりに向けて 実行段階へ移行

テーマ別協議

目指すゴールの具体化
（言語化・ビジュアル化）

▼

未来ビジョンの策定、
冊子の制作/公開



部会構築

役割の明確化
リーダー選定・
事務局/部会構築

部会ルール/
社会実験検討

運営基盤整備
ルール/意思決定
フロー策定

将来像に基づいた
やりたい事、
やってみたい事
（企画立案）



他地域視察/
事例共有

1on1実施
（CCC×部会リーダー候補）

▼

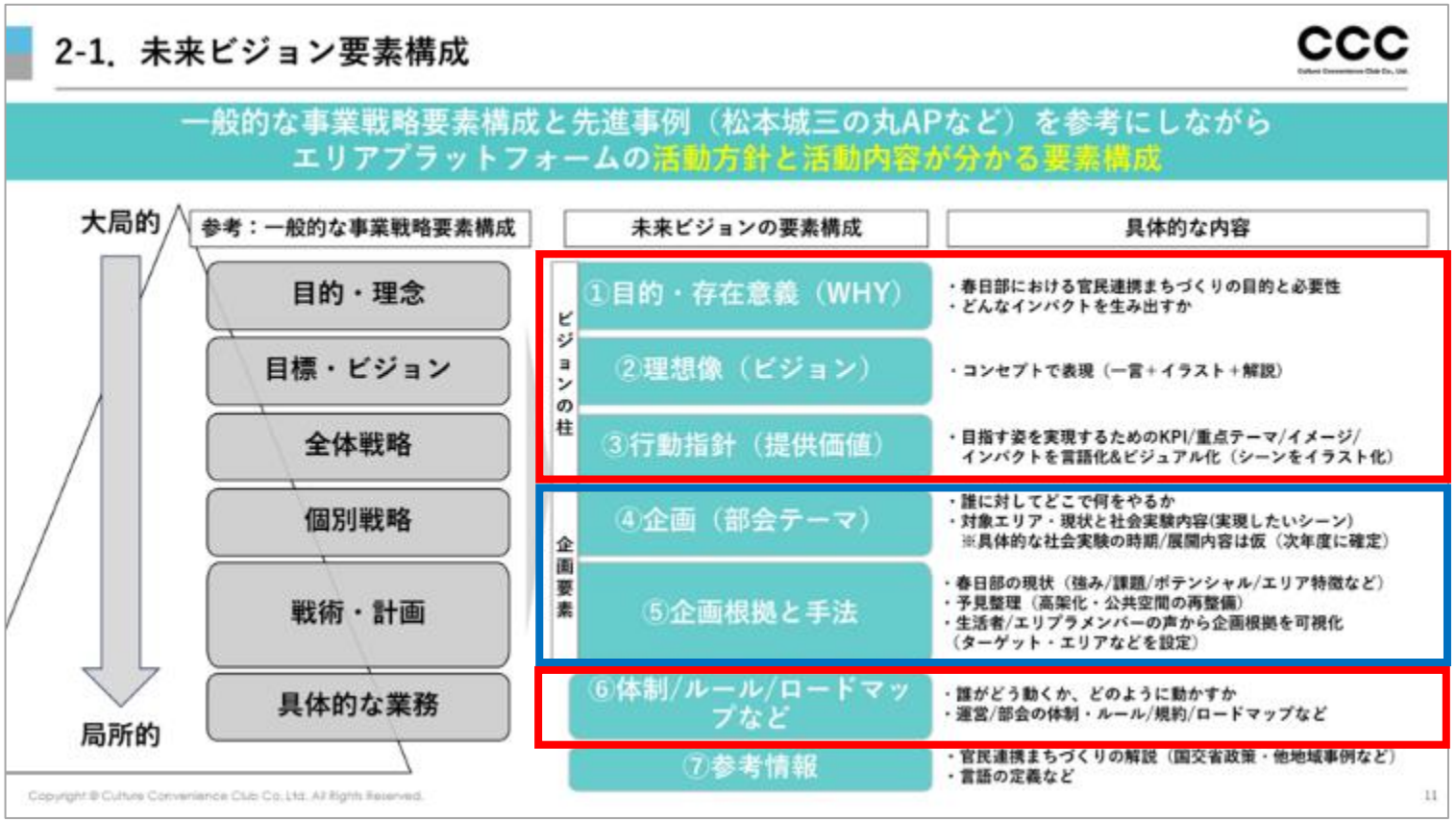
部会設立と社会実験の準備

まちづくり企画力育成
まちづくり・企画立案に
関する勉強会

企画の具体化
なぜ・どこで・なにを・だれが・どのようにやるか

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All rights reserved.

3-2.振り返り：役割分担（未来ビジョン会議と部会の住み分け）



情報連携

【運営】
未来ビジョン会議メンバーで
APの活動方向性を決めていく

【部会】
活動内容を企画して実行する
部会リーダー/メンバー

【サポート】
AP活動を支援する事業者/団体など

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

3-3.振り返り：未来ビジョンの柱要素（要点のみ）

詳細：8月28日未来ビジョン会議資料ご参照

PROCESS_FLOW

生活者デプスインタビュー結果より

課題の直視と分析（現状から導き出されたニーズ）

「通過点」からの脱却と「滞在」への渇望

買い物場所の減少や休憩インフラの欠如により、用件後すぐに他駅へ流出している現状。

47.4%が望む「居心地の良いサードプレイス」

47.4%

未来ビジョンの構成要素として、日常の延長でくつろげる空間への期待が圧倒的。

物理的・心理的分断の解消

鉄道高架化への期待は高く、歩行ストレスのない東西のシームレスな接続が必須。

未来ビジョンの具体化（エリア別の展開とプロセス）

駅を「ゴール」から「まちのハブ」へ

鉄道高架下や駅前広場を起点に、公園や水辺へウォーカブルにつなぐ。



5つの重点エリアによる価値創造

駅前（憩い） / 公園（滞在） / ストリート（賑わい） / 水辺（リフレッシュ） / 商店街（交流）

年内を目標とした個別テーマの深掘り

プレストと検証を経て、マーケティングデータを踏まえた具体的な施策へ反映。

企画シート内容からビジョン要素を抽出

未来ビジョンへの展開（主要テーマとその狙い）

テーマ	%	狙い
居場所・サードプレイス	24.5%	単なる通過点から、思わず足止めしたくなる心地よい空間の創出
日常・リビング化	22.9%	ベッドタウンを脱却し、街中で豊かに過ごせる「街のリビング」を実現
カルチャー・体験	15.4%	音楽・アート・マルシェなど、日常にワクワクをもたらす体験を提供

個別テーマを協議しながら、コンセプト・テーマに反映させていく

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

3-4.振り返り：今後の進め方（8月28日未来ビジョン会議より）

エリア
東口と西口/
駅前と駅周辺

ターゲット
来街者と近隣住民

時間帯
日常と休日/昼と夜

機能
ハードとソフト

未来ビジョン会議
▼
年内を目標に
個別テーマごとに協議
（マーケティングデータなどを踏まえて）
▼
未来ビジョンに反映

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

3-5.本日のテーマ

①エリア

●対象：西口駅前広場・東口ぷらっと広場・古利根川・ストリート・その他
●内容：どんな場/空間にしたいかをブラッシュアップ。この場でこんなことができたら良い、という要素を抽出してビジョンに反映
●プロセス：現状⇒活用可能性⇒理想像⇒具体的な企画内容へ
●アウトプット：のびしろマップをベースに、7月16日フィールドワークMAPにキーワードを追加

②ターゲット

●対象：居住者と来街者・ファミリーと若者などメインターゲット（APメンバー企画シート内容より）
●内容：誰にどんな価値を提供して、どんな場にしていきたいかを可視化（仮説）⇒アンケート調査設計に反映（根拠）
●プロセス：対象のペルソナ分析（V会員データ・非公開）⇒ニーズ/特性理解⇒議論⇒優先したいターゲットとその理由、ターゲット×企画案のブレスト
●アウトプット：ターゲット設定、ペルソナ可視化、未来ビジョン/企画要素抽出⇒アンケート調査設計に反映

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

どんな場/空間にしたいか

（未来ビジョン要素に反映）

1.現状	2.活用可能性	3.理想像	4.企画内容





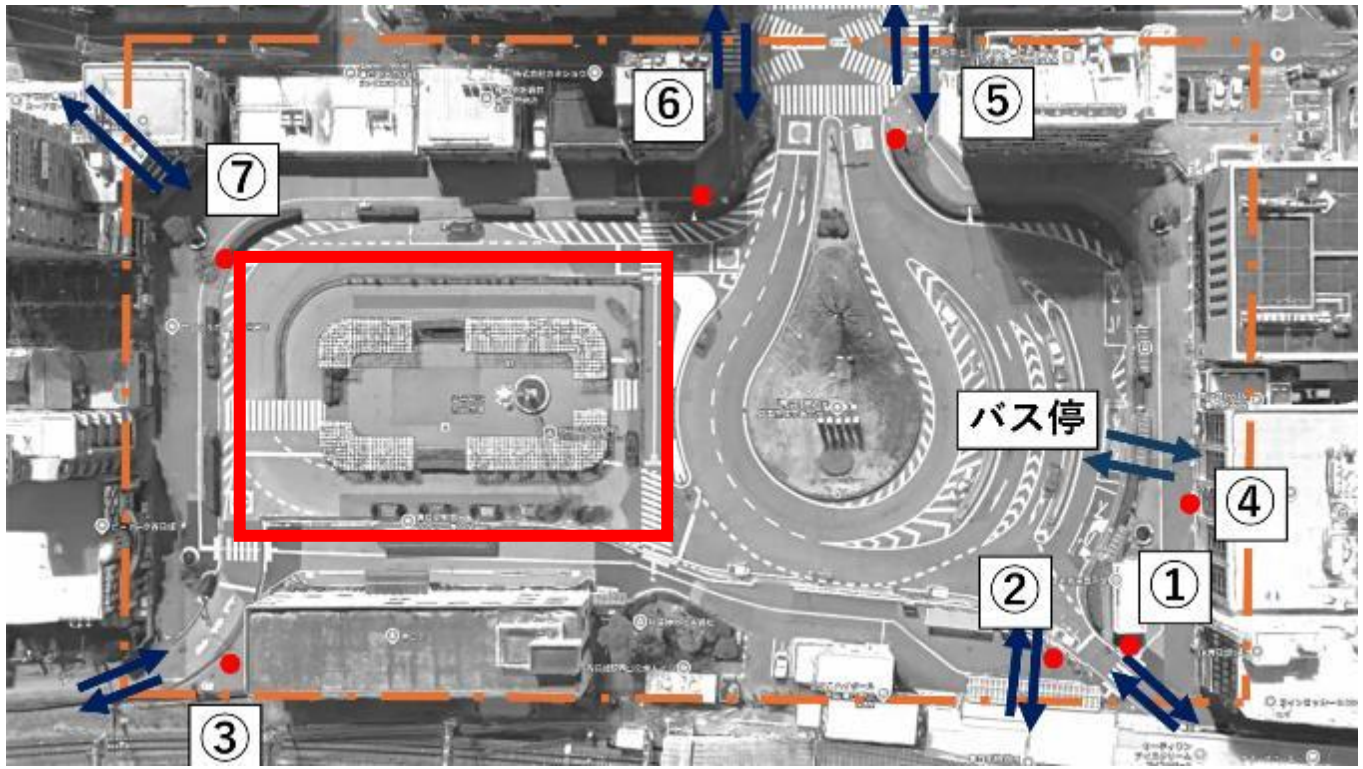

▶伸びしろマップに付箋を貼っていきましょう

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

3-7.西口駅前広場





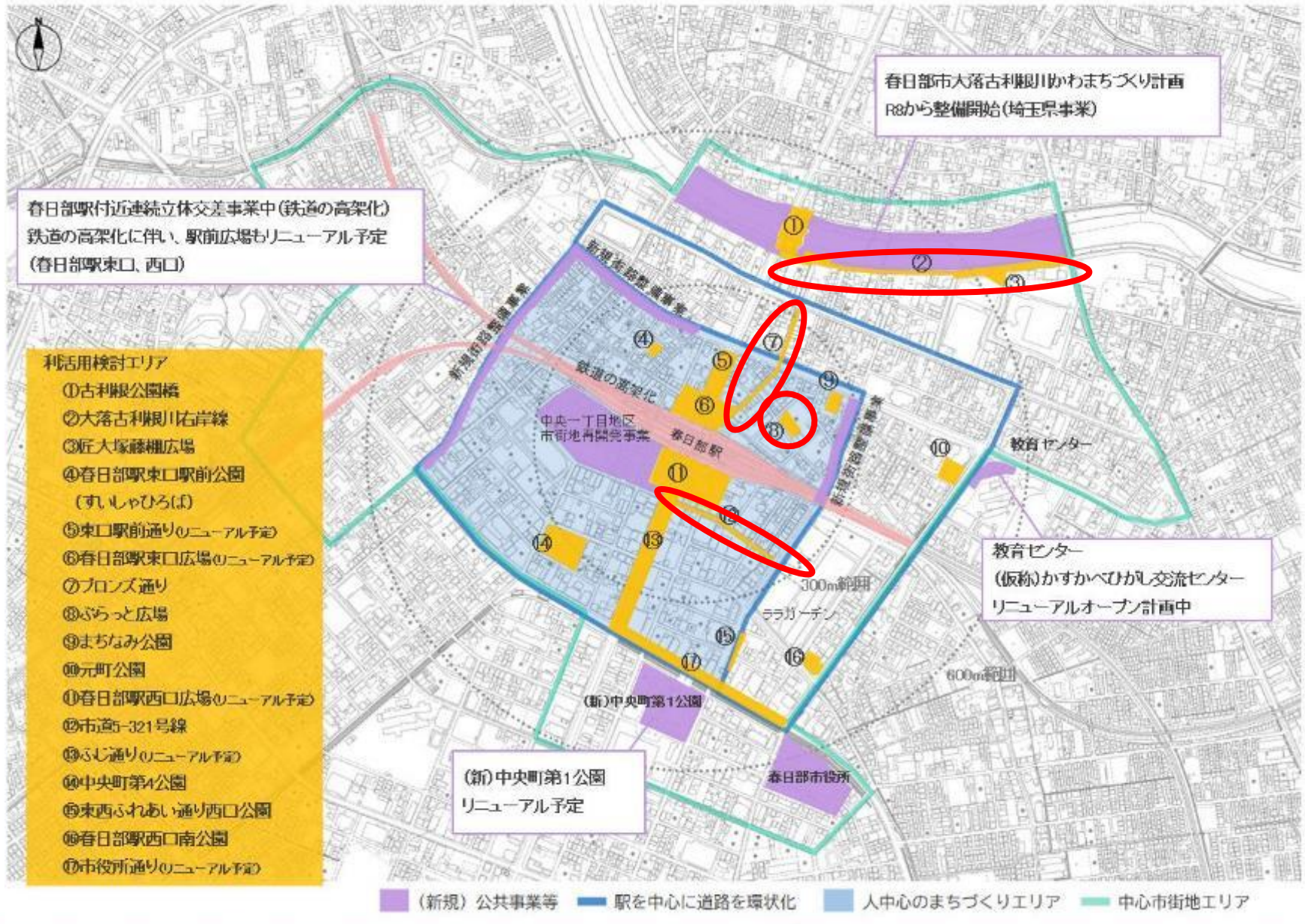


通行滞在者調査資料より
（引用元：GoogleMaps）

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

まちの伸びしろマップ （中心市街地内の対象エリア）

春日部市 都市計画課



たくさんある公共空間から
4箇所を抜粋

②大落古利根川右岸線

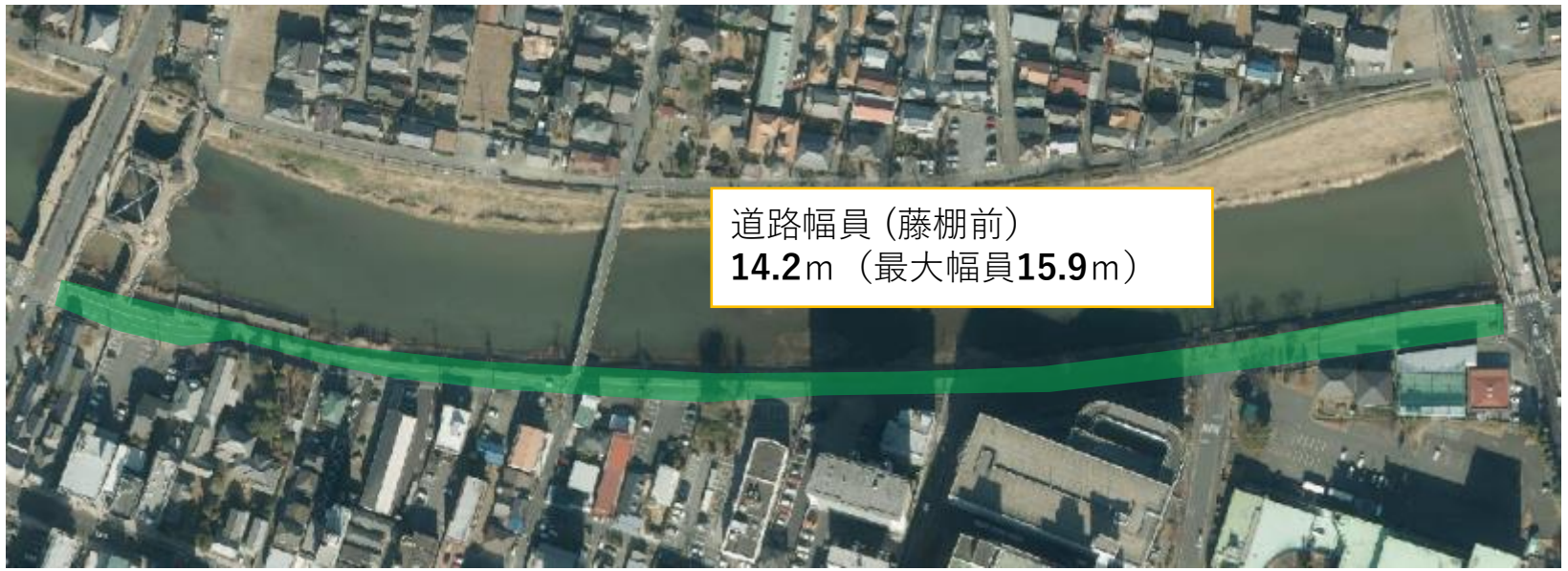
⑦ブロンズ通り

⑧ぷらっと広場

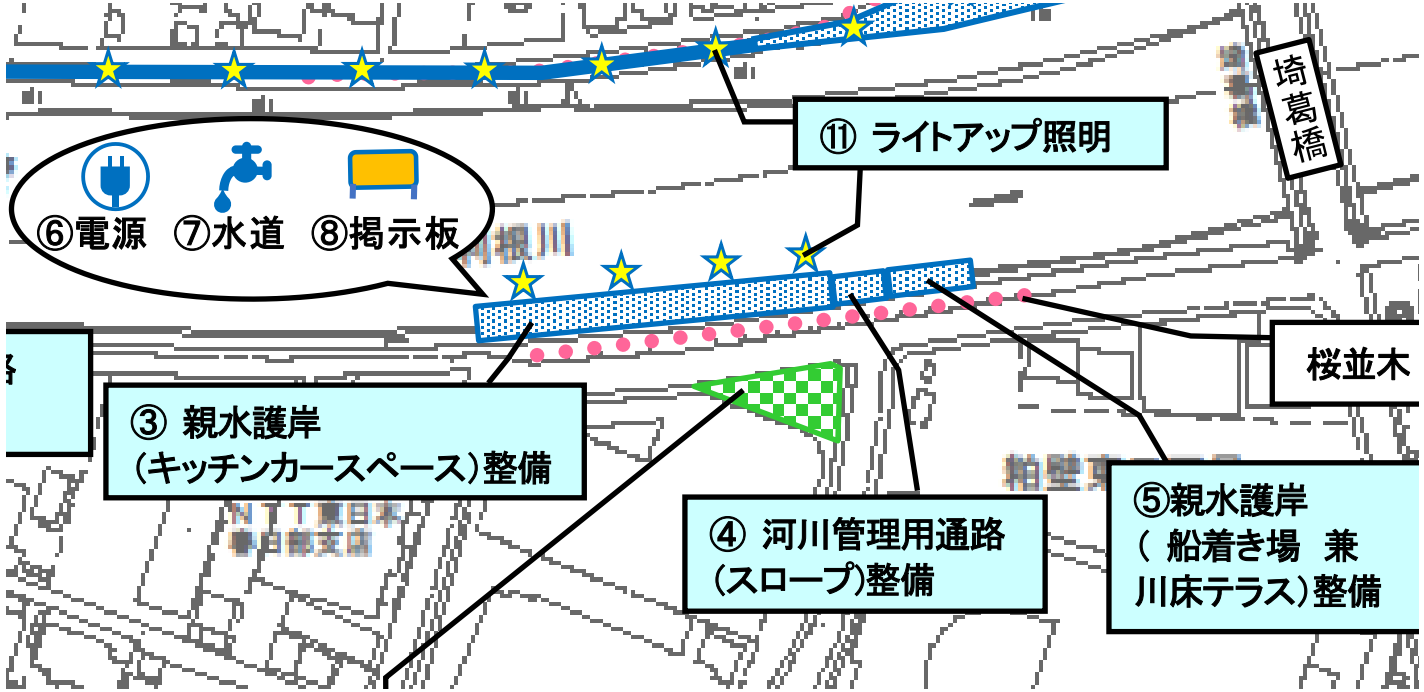
⑫市道5-321号線

この中で、
公共空間の活用方法を検討。

3-8.②大落古利根川右岸線





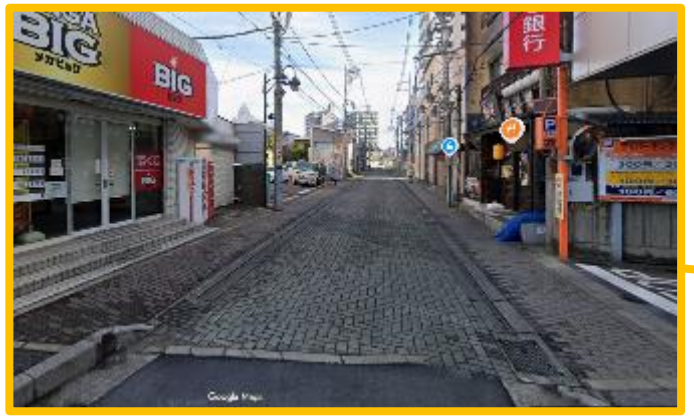




3-9.⑦ブロンズ通り









道路幅員 **7.3**m
道路長さ（北側）約**102**m
（南側）約**105**m
※交差点内は除く







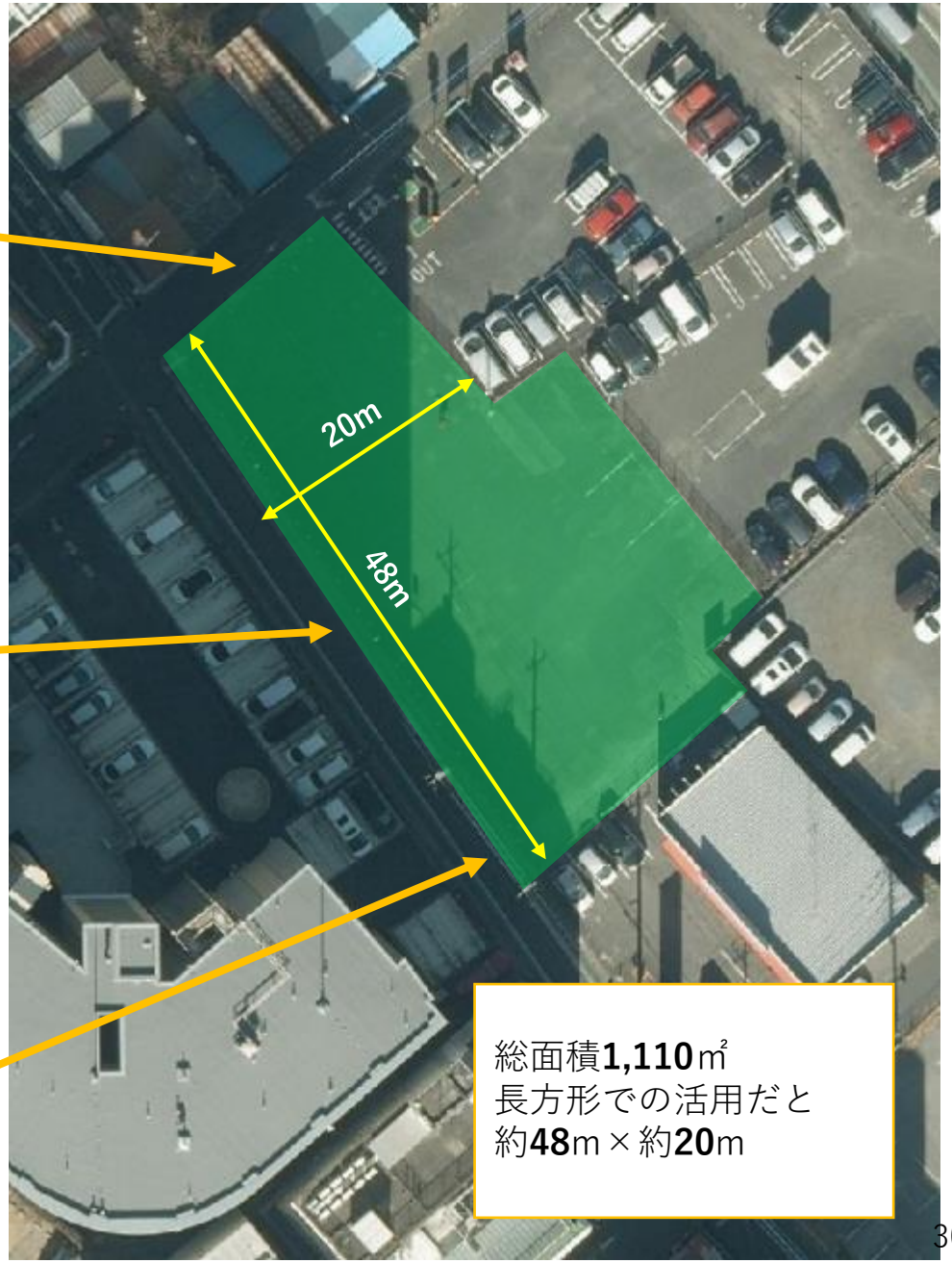
引用写真：GoogleMaps

3-10.⑧ぷらっと広場



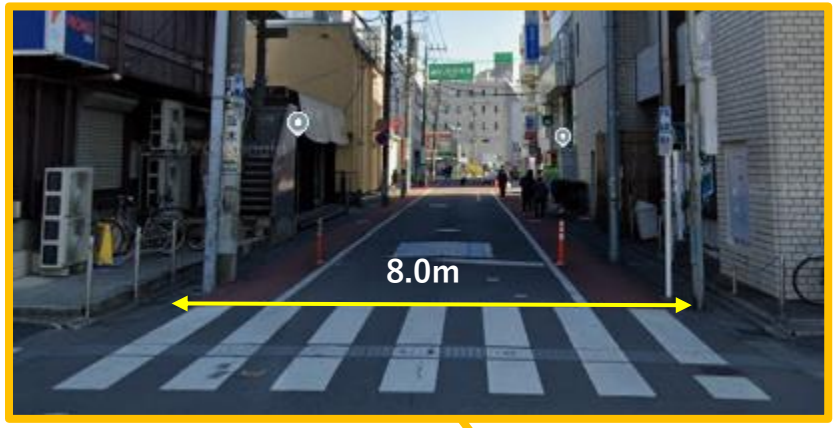






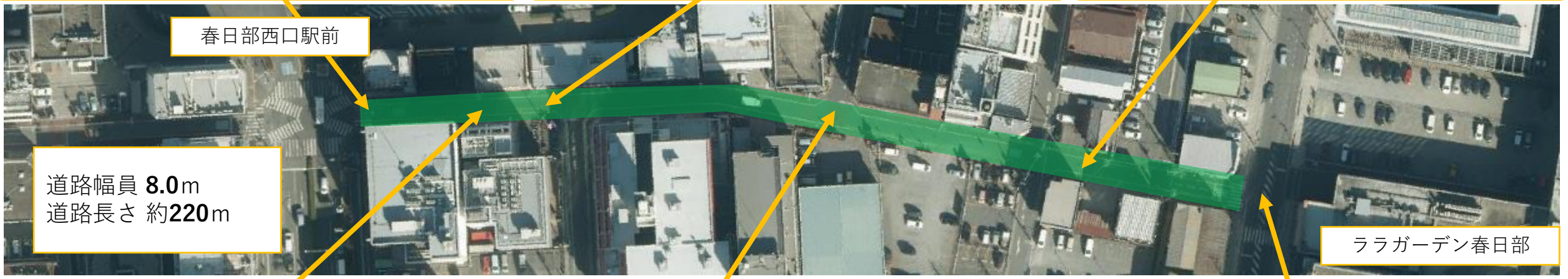
引用写真：GoogleMaps

3-11.⑫市道5-321号線









春日部西口駅前

道路幅員 **8.0**m
道路長さ 約**220**m

ララガーデン春日部







引用写真：GoogleMaps

タイムテーブル

no	時間帯	区分	内容
1	19:00～19:05	共有	通行滞在者調査
2	19:05～19:30	共有＆協議	運営関連
3	19:30～19:55	協議①	ビジョン策定_エリア
4	19:55～20:05	休憩	休憩
5	20:05～20:30	協議②	ビジョン策定_ターゲット
6	20:30～21:00	相互理解	APメンバー発表

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

5-1.ターゲット別の協議

誰にどんな価値を提供して、どんな場にしていきたいか

想定ターゲット

- 居住者
- 来街者
- 子育て世代
- 若者
- その他

協議の進め方

想定ターゲットのペルソナ分析
＝ニーズ/特性理解

↓

優先したいターゲットとその理由

↓

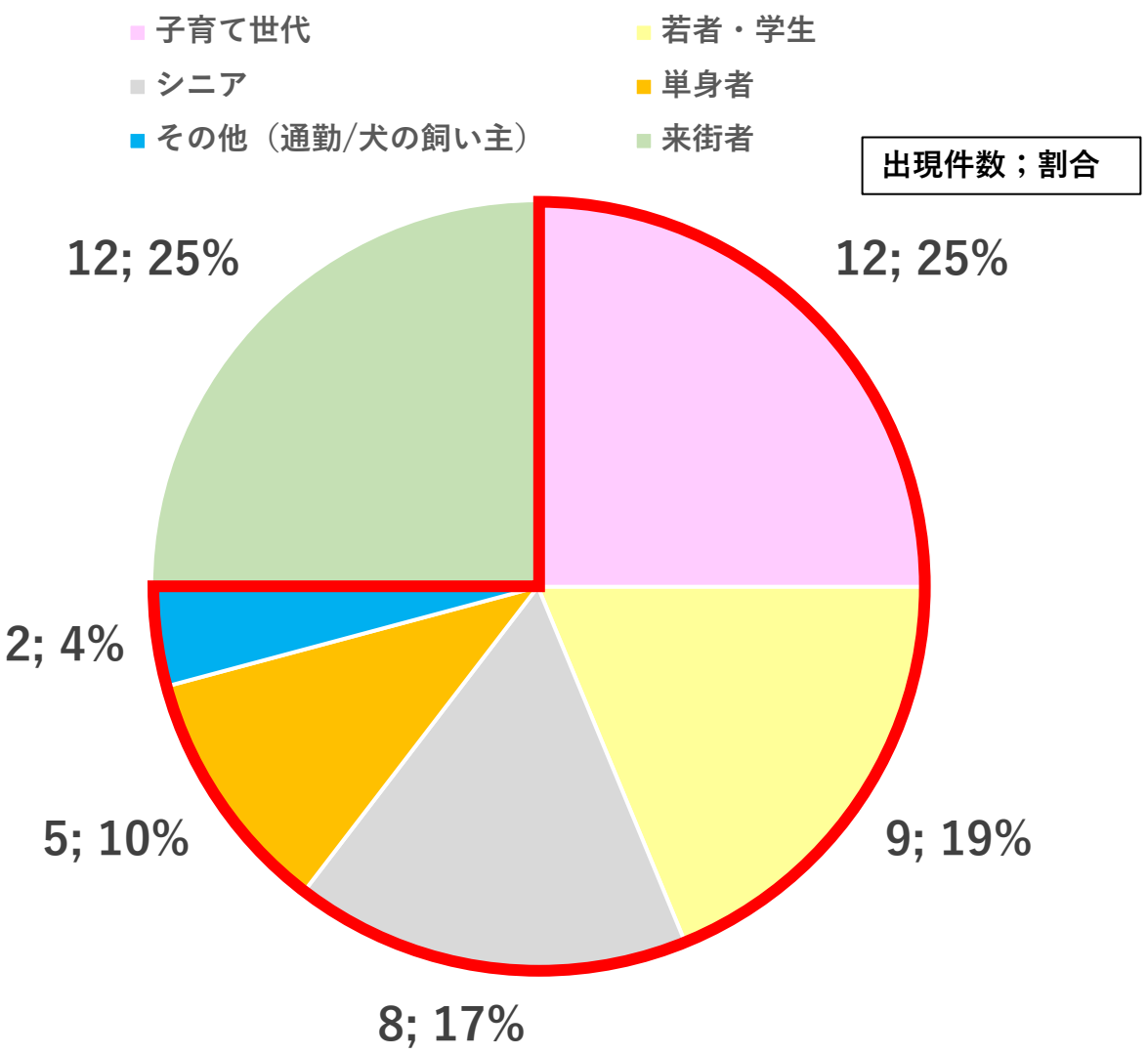
ターゲット×企画案

▶ターゲット設定、ペルソナ可視化、未来ビジョン/企画要素抽出⇒アンケート調査設計に反映

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

5-2.振り返り：ターゲット×企画案（8月28日ビジョン会議資料より）

メイン居住者75%・サブ来街者25%



01

子育て世代
（平日・休日昼）

子どもと一緒にフラッと行ける公園や広場での「ママ友づくり」や「ワークショップ」の開催。都内に出なくても近場で楽しめる「子育てリビング」空間の提供。

02

若者・学生
（平日夕方～夜・休日）

学校や塾帰りに立ち寄って買い食いしたり、気候が良い時は外で勉強できる空間。ストリートカルチャー（音楽、バスケ、スケボー等）やフリマなどへの主体的参画。

03

シニア
（平日朝～昼）

朝の時間帯にお茶や世間話ができる集まりや、川沿いなど自然を感じながら歩ける「皇居ランナーの散歩版」のような健康・交流促進。

04

単身者・ビジネス層
（平日夜）

仕事帰りの「余白の時間」に立ち寄り、ビールを飲んだり、ゆるい交流（贈与経済的なシェアリング等）を楽しめるサードプレイスの提供。

05

来街者・観光客
（休日昼～夜）

クレヨンしんちゃん等の世界観を活用したスタンプラリーや、マルシェ、川沿いでのアクティビティ（SUP等）による「街の目的地化」と消費行動の促進。

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

5-3.ペルソナ分析

別紙ご参照
（非公開）

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

5-4.ターゲット別の協議内容

性年代＋志向性は？
なぜそのターゲット？
仮説や根拠はある？

優先したい
ターゲット
&
理由

誰にどんな価値を
提供すると
どんな日常が生まれる？

ターゲット
×
企画案

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

タイムテーブル

no	時間帯	区分	内容
1	19:00～19:05	共有	通行滞在者調査
2	19:05～19:30	共有＆協議	運営関連
3	19:30～19:55	協議①	ビジョン策定_エリア
4	19:55～20:05	休憩	休憩
5	20:05～20:30	協議②	ビジョン策定_ターゲット
6	20:30～21:00	相互理解	APメンバー発表

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

CHAPTER

共栄大学 伊藤先生より

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

CHAPTER

埼玉りそな銀行 斎田さんより

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

CHAPTER

中学校教諭 長田さんより

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.

ネクストアクション

1.10月29日　中間報告会

2.11月　未来ビジョン会議（日程調整）

3.11月17日予定　他地域視察（甲府）

4.その他

Copyright © Culture Convenience Club Co.,Ltd. All Rights Reserved.